

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年7月15日

【四半期会計期間】 第11期第1四半期(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

【会社名】 株式会社エヌリンクス

【英訳名】 NLINKS Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗林 憲介

【本店の所在の場所】 東京都豊島区池袋二丁目14番8号 池袋NSビル5階

【電話番号】 03-5957-2170 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 栗林 圭介

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区池袋二丁目55番2号 鈴木ビル2階

【電話番号】 03-6825-5022 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 栗林 圭介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第10期 第1四半期 連結累計期間	第11期 第1四半期 連結累計期間	第10期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	1,175,283	809,174	4,776,812
経常利益又は経常損失() (千円)	48,212	51,665	161,422
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失() (千円)	48,547	5,379	182,552
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	48,547	5,379	182,552
純資産額 (千円)	1,321,486	1,150,299	1,191,502
総資産額 (千円)	1,872,053	1,986,713	1,852,391
1株当たり四半期 (当期)純損失() (円)	6.81	0.75	25.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	70.6	57.9	64.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社サンジュウナドを連結の範囲に含めておりません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により、緩やかな回復基調が続いていたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となっております。

当社グループにおきましても、主力事業である日本放送協会（以下「NHK」といいます。）からの放送受信料の契約・収納代行業務（以下「NHK業務」といいます。）において、新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態宣言の発令により、2020年3月27日から関東を中心とした一部の支店において、また、同年4月8日から全国すべての支店において2020年5月31日まで取引先であるNHKと協議のうえ、訪問活動等による営業活動の自粛を行ってまいりました。

また、メディア事業の不動産メディア業務（「Rooch」、「イエプラ」、「家AGENT」等の運営）におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により家AGENTにおいて、一部店舗業務の制限を行ってまいりました。

一方、メディア運営におきましては、ゲーム攻略サイト（「アルテマ」、「ゴリラwiki」）及びマッチングアプリ情報サイト（「マッチングアプリPlus」、「Life」）ともに好調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により809,174千円と前年同四半期と比べ366,109千円（31.2%）の減収となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、人件費関連費用として、主に給与及び手当が685,705千円（前年同期比5.6%増）、賞与及び賞与引当金繰入額の合計額が47,132千円（同47.6%減）、法定福利費が110,222千円（同4.9%増）となり、その他、募集・採用費84,779千円（同14.5%減）、スマートフォンゲーム及びマッチングアプリの開発に係る研究開発費69,140千円等を計上した結果、販売費及び一般管理費の合計は1,254,131千円（同2.4%増）となりました。この結果、営業損失は444,956千円と前年同四半期と比べ395,093千円（792.3%）の減益となりました。

営業外収益につきましては放送受信料の契約・収納代行業務において、営業活動の自粛による機会損失の一部が、過去の取引実績に基づき取引先より補填されたこと等から、受取補償金を494,723千円計上したこと等により合計で497,455千円（前年同期は2,197千円）となり、営業外費用につきましては832千円（前年同期比52.2%増）となりました。この結果、経常利益は51,665千円と前年同四半期と比べ99,878千円（前年同期は経常損失48,212千円）の増益となりました。

また、法人税等合計51,920千円（前年同期は334千円）を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,379千円と前年同四半期と比べ43,167千円の増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

a. 営業代行業業

当セグメントにおきましては、主力事業である日本放送協会（以下「NHK」といいます。）からの放送受信料の契約・収納代行業務において、新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態宣言の発令により、2020年3月27日から関東を中心とした一部の支店において、また、同年4月8日から全国すべての支店において2020年5月31日まで取引先であるNHKと協議のうえ、訪問活動等による営業活動の自粛を行っていたことから売上高は521,120千円（前年同期比43.5%減）となりました。

費用関連におきましては人員の増加に伴い、給料及び手当が540,167千円（同8.0%増）となったものの、賞与及び賞与引当金繰入額が29,454千円（同58.9%減）、募集・採用費が84,779千円（同8.6%減）等となった結果、販売費及び一般管理費の合計は875,838千円（同4.4%減）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は354,718千円（前年同期はセグメント利益6,007千円）となりました。

b. メディア事業（不動産メディア運営 イエブラ）

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により家AGENTにおいて、一部店舗業務の制限を行っていたことにより、売上高が85,864千円（前年同期比37.8%減）となりました。

費用関連におきましては、人員の増加により給料及び手当が68,308千円（同11.6%増）となったこと等により、販売費及び一般管理費の合計は125,143千円（同8.3%増）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は39,279千円（前年同期はセグメント利益22,385千円）となりました。

c. メディア事業（メディア運営 アルテマ）

当セグメントにおきましては、特にマッチングアプリ情報サイト（「マッチングアプリPlus」、「Life」）が好調に推移したことから売上高が198,992千円（前年同期比82.4%増）となりました。

費用関連におきましては、人員の増加により給料及び手当が73,644千円（同6.0%増）、賞与引当金繰入額が8,314千円（同10.4%増）となり、また、マッチングアプリの開発費用21,463千円を計上したこと等により、販売費及び一般管理費の合計は172,378千円（同34.7%増）となりました。この結果、セグメント利益（営業利益）は26,614千円（前年同期はセグメント損失18,898千円）となりました。

d. ゲーム開発事業

当セグメントにおきましては、スマホゲームの企画・開発に取り組み、研究開発費を計上したことから販売費及び一般管理費の合計は47,677千円（前年同期比64.6%増）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は47,677千円（前年同期はセグメント損失28,973千円）となりました。

e. その他

当セグメントにおきましては、求人広告の代理店業務により、売上高は3,197千円（前年同期比50.2%減）となった一方、販売費及び一般管理費の合計は5,721千円（同30.5%増）を計上したことから、セグメント損失（営業損失）は2,524千円（前年同期はセグメント利益2,032千円）となりました。

財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1,986,713千円(前期末比7.3%増)となりました。

主な内訳は、現金及び預金が1,001,482千円(同12.8%増)、営業未収入金が146,926千円(同67.9%減)、未収入金が255,845千円(前期末は2,105千円)、投資その他の資産359,462千円(同53.8%増)であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は836,413千円(前期末比26.6%増)となりました。

主な内訳は、短期借入金が100,000千円、未払人件費を含めた未払費用が442,294千円(同12.9%減)、未払消費税等が90,129千円(同50.6%増)であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,150,299千円(前期末比3.5%減)となりました。

主な内訳は、利益剰余金が527,483千円(同7.2%減)、資本金が316,408千円、資本剰余金が306,408千円であります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は69,140千円であります。

(4) 従業員の状況

連結会社

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは業容の拡大に伴い、営業代行業業において66名、メディア事業において4名、ゲーム開発事業において5名増加しております。

提出会社

当第1四半期累計期間において、当社は業容の拡大に伴い、営業代行業業において66名、メディア事業において4名増加しております。

なお、従業員数は、当社から他社への出向者を除いた就業人員数であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年7月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,164,642	7,164,642	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 あります。
計	7,164,642	7,164,642		

(注) 提出日現在発行数には、2020年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年5月31日		7,164,642		316,408		306,408

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,163,400	71,634	単元株式数は100株であります。 完全議決権株式であり、権利内容に 何ら限定のない、当社の標準となる 株式であります。
単元未満株式	普通株式 1,242		
発行済株式総数	7,164,642		
総株主の議決権		71,634	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツの四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	887,748	1,001,482
営業未収入金	457,526	146,926
未収入金	2,105	255,845
その他	111,931	80,219
流動資産合計	1,459,312	1,484,474
固定資産		
有形固定資産	36,003	39,685
無形固定資産		
のれん	101,386	83,260
その他	21,952	19,831
無形固定資産合計	123,338	103,091
投資その他の資産	233,736	359,462
固定資産合計	393,078	502,239
資産合計	1,852,391	1,986,713
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	100,000
未払費用	507,879	442,294
未払法人税等	17,594	85,466
未払消費税等	59,840	90,129
賞与引当金	-	19,677
その他	75,574	98,846
流動負債合計	660,889	836,413
負債合計	660,889	836,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	316,408	316,408
資本剰余金	306,408	306,408
利益剰余金	568,686	527,483
株主資本合計	1,191,502	1,150,299
純資産合計	1,191,502	1,150,299
負債純資産合計	1,852,391	1,986,713

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	1,175,283	809,174
売上総利益	1,175,283	809,174
販売費及び一般管理費	1,225,147	1,254,131
営業損失()	49,863	444,956
営業外収益		
受取補償金	-	494,723
受取手数料	333	124
受取報奨金	740	418
助成金収入	1,070	1,760
雑収入	52	428
営業外収益合計	2,197	497,455
営業外費用		
支払利息	-	95
支払手数料	341	737
株式交付費	205	-
営業外費用合計	546	832
経常利益又は経常損失()	48,212	51,665
特別損失		
減損損失	-	5,124
特別損失合計	-	5,124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	48,212	46,540
法人税、住民税及び事業税	1,816	56,195
法人税等調整額	1,482	4,275
法人税等合計	334	51,920
四半期純損失()	48,547	5,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失()	48,547	5,379

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
四半期純損失()	48,547	5,379
四半期包括利益	48,547	5,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,547	5,379
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

「連結の範囲の重要な変更」

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社サンジュウナドを連結の範囲に含めております。

(追加情報)

前連結会計年度の連結財務諸表において記載した、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	6,259千円	5,695千円
のれんの償却費	-千円	4,897千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	28,473	12.00	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

(注) 2019年1月10日開催の取締役会の決議に基づき、2019年3月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額は株式分割前の金額で記載しております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	35,823	5.00	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整 (注)2	合計
	営業代行 事業	メディア事業		ゲーム 開発事業	計			
		イエブラ	アルテマ					
売上高								
外部顧客への売上高	921,842	137,950	109,075	-	1,168,868	6,415	-	1,175,283
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	921,842	137,950	109,075	-	1,168,868	6,415	-	1,175,283
セグメント利益又は セグメント損失()	6,007	22,385	18,898	28,973	19,479	2,032	32,416	49,863

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仲介手数料業務を含んでおりません。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 32,416千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整 (注)2	合計
	営業代行 事業	メディア事業		ゲーム 開発事業	計			
		イエブラ	アルテマ					
売上高								
外部顧客への売上高	521,120	85,864	198,992	-	805,977	3,197	-	809,174
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	521,120	85,864	198,992	-	805,977	3,197	-	809,174
セグメント利益又は セグメント損失()	354,718	39,279	26,614	47,677	415,060	2,524	27,372	444,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仲介手数料業務を含んでおりません。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 27,372千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純損失()	6円81銭	0円75銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	48,547	5,379
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失()(千円)	48,547	5,379
普通株式の期中平均株式数(株)	7,129,245	7,164,642
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月14日

株式会社エヌリンクス
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	芝	田	雅	也
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹	田		裕

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エヌリンクスの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エヌリンクス及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。